

Cinema

Cinema News : 01

守りたい。子どもたちの未来を… 子どもたちに観せたい。自然の大切さを描いた痛快! 青春映画!



©2013サンゴレンジャー製作委員会

石垣島の紺碧の海と世界有数のサンゴ礁。この美しい自然を破壊する大規模架橋計画。開発か、それとも環境保護か——。「サンゴレンジャー」は、この島の一大事に、環境省の自然保護官・矢島隆が、とびきり熱い信念で地元をまとめ上げ、パワフルに立ち向かっていく物語。

自らを「自然を守る正義の味方」と名乗る、熱血漢の主人公を演じるのは、映画「渾身 KON-SHIN」に続き3作目の主役を務める若手俳優の青柳翔。また、同僚、そして「サンゴレンジャー2号」として、矢島に振り回されながらも、いつしか自分が忘れていた熱い想いに気づいていく岸谷役に、若手実力俳優の田中圭。子どもたちに自然の大切さを伝えていく地元小学校の教師役であり、美しい島を象徴するヒロイン

に、佐々木希。ほか、孤高の漁師役の夏八木勲ら、型破りなニューヒーローをサポートする顔ぶれも個性的。「美しい自然を、少しでもよい状態で、未来の子どもたちに受け継ぎたい」。映画に込められたそのメッセージを伝えていくため、「キッズレンジャー」として活躍する生徒役には、地元・沖縄の子どもたちをキャスティング。無邪気な笑顔とひたむきな演技もキラリと光る。

環境問題という、ついむずかしく考えてしまう人も多いかもしれない。でもきっと大丈夫。矢島が奮闘する姿にグングン引き込まれ、気がつけば最高の爽快感に包まれているはず。そう、大切なのは、ただシンプルに自分と向き合おうとする「あなたの気持ち」次第なのだから。



©2013サンゴレンジャー製作委員会

◎出演の田中圭からのメッセージ

石垣島は自然もごはんも素晴らしい、楽しいロケでした! 真面目な岸谷さんが、矢島に感化されて変わっていく姿も見所。ぜひご家族みなさんと楽しんでください。

【サンゴレンジャー】
監督・中前勇児、脚本・三浦有為子/高橋麻紀、原作・さいたままき、出演・青柳翔、田中圭、佐々木希、池田鉄洋、高畑淳子、夏八木勲 2013年初夏より全国ロードショー
<http://www.sangoranger.jp>

「この映画の思いを一番強く伝えられる役。振り切って演じました」—— 青柳翔

矢島とはにかく破天荒で情熱的。それに負けないよう、僕もとことん振り切って演じました! それこそが、見てくれる皆さん、特に子どもたちに、この映画の想いを一番強く伝えられたと思ったから。それに、島の合宿口ケなので、監督や共演する役者さんとじっくり語り合えたのも良かったですね。特に田中圭さんや、池田鉄洋さんのレンジャー2号・3号とは、毎晩飲みながらの作戦会議も。そんなチームワークのよさが、コミカルな場面からシリアスな場面まで、いいテンポを生み出したと思います。

環境問題でも、人生でも、「何が正解なの?」と悩んで動けなくなることもあるけれど、矢島は違う。彼を演じていると「考えるより、まず動いてみればいい!」って自分の背中を押してくれる気がしました。映画を見た皆さんにも、そんなことを感じてもらえたらうれしいですね。



青柳翔
Profile 1985年北海道出身。2009年、舞台「あたくNo.1」で俳優デビュー。現在劇団EXILEメンバーとしてドラマ「結婚しない」「私が恋愛できない理由」ほか、舞台や映画などジャンルを問わず活躍。主役を演じた映画「渾身 KON-SHIN」(2013年公開)はモントリオール世界映画祭に正式招待作品として出品。

GRAND MARBLE JOURNAL

スクリーン、ステージ、イベント…2012年下半期、グランマールは「文化の創造」をサポートさせていただきました。

トロント国際映画祭受賞の『希望の国』が世界に広げる感動

東日本大震災後、原発事故をテーマに、ある家族の絆と希望を描いた園子温監督の『希望の国』が、カナダのトロント映画祭コンテンポラリー・ワールド・シネマ部門で、NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)を受賞しました。被災地に取材を重ね、放射能汚染という重いテーマを迫真のリアリティで描き、たくましく生きる人々から希望と愛を見いだすストーリーに、国境を超えた感動と賞賛が広がっています。



©2012 The Land of Hope Film Partners

『希望の国』
監督&脚本・園子温
出演・夏八木勲、大谷直子、村上淳、神楽坂恵、清水優、梶原ひかり
全国ロードショー中

市川海老蔵が出演。能楽と歌舞伎との競演「古典への誘い」

市川海老蔵が出演する「古典への誘い」が、京都・南座ほか全国7都市で上演。室町時代以来武家の芸能として継承されてきた能楽と、江戸時代から民衆文化として栄えてきた歌舞伎。ともに「古典芸能」であるふたつの芸能の競演がコンセプト。市川海老蔵による歌舞伎舞踊「連獅子」と、その元となった能の「石橋」が同じ舞台上で演じられるのは、日本芸能史上初めて。日本の伝統文化の魅力発見の舞台となりました。



「古典への誘い」京都・南座公演は2012年9月28日～30日に上演されました。



「古典への誘い」公演を記念して、市川海老蔵デザインの「かまわぬ」文様のオリジナル風呂敷にデニッシュを包んで販売いたしました。

世界遺産、西本願寺で、「にっぽんと遊ぼう」が開催されました

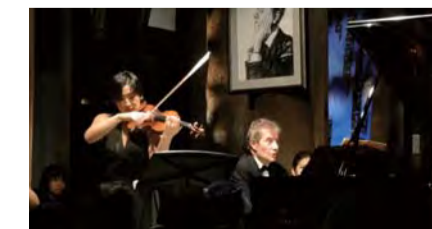
日本文化の新しい価値の掘り起こしをテーマに、1994年以来、毎年開催されている「にっぽんと遊ぼう」。2012年は、世界文化遺産、浄土真宗本願寺派・本願寺(西本願寺)を舞台に、「千代に舞う龍」をテーマに開催されました。

中国の伝統音楽の演奏ほかのパフォーマンスが上演され、シルクロードを経て日本にもたらされ、現代まで息づくさまざまな伝統を感じるひとときとなりました。



世界の音楽家と若い才能が古都に出会う「京都国際音楽フェスティバル2012」

2010年「シヨバン生誕200年記念国際交流演奏会・展覧会」(清水寺ほか)、2011年「震災復興支援国際交流演奏会(E.リスト200年の祈り)」(清水寺、二条城ほか)を経て、2012年は「京都国際音楽フェスティバル2012」が、C.ドビュッシーの生誕150年にちなみ、世界的ピアニスト G.タッキーノ氏を招いて、清水寺ほかで開催されました。「京都国際音楽フェスティバル」は世界の若い才能の出合いの場としてこれからも継続してゆきます。



演奏するG.タッキーノ氏。 ©Sachiko HAMADA

グランマールの社会貢献活動、LOVE MARBLE

グランマールでは、ピンクリボン運動への支援、東日本大震災への支援活動など、社会貢献活動を「LOVE MARBLE」という名で展開してゆきます。1996年の創業以来、皆様から

いただいた「愛」に支えられ、これまで歩んで来たグランマールは、今後もこれまでに以上に、企業活動を通じて、より多くの「感謝の愛」をお届けできるよう努力し取り組んでまいります。



活動のレポートや予告は、WEBで告知してゆきます。
<http://www.grandmarble.com/>